

2024

発行日 毎月1日 通算発行 461号

9



協会報



災害復興の足音

最近の完成工事から

令和6年能登半島地震 復旧・復興のあゆみ
～のと里山海道で対面通行を再開～

石川県土木部道路建設課



《石川の工芸シリーズ⑦》

金沢市立中村記念美術館蔵

すめわけひしもん ごしよかご
染分菱文御所藍

はしもと せんせつ
橋本 仙雪【大正7(1918)年ー平成20(2008)年】

制作年／平成7(1995)年 サイズ／幅15.7×奥行22.0×高さ13.8cm
鶴来町(現白山市)に生まれ、金沢で活躍した竹工作家の橋本仙雪は、日本伝統工芸展をはじめとする各展覧会へ出品しながらも、日常のさまざまな局面で用いられる「道具」として、竹工芸の美と可能性を追い求めて制作を続けた。確かな技術に裏付けられた作品群は、伝統を踏襲しながらも創造性にあふれ、時代を超えた普遍的な美を感じさせ、茶道や華道を嗜む多くの人々を魅了し続けている。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS 2024 9



《石川の工芸シリーズ④》
そめわけしもん ごしょかご
染菱文御所簍
橋本 仙雪 (はしもと せんせつ)

1	災害復興の足音	1
2	最近の完成工事から	2
	令和6年能登半島地震 復旧・復興のあゆみ ～のと里山海道で対面通行を再開～	
	石川県土木部道路建設課	
3	今月の「輝き！」さん No.113	4
	誠和建設株式会社 関戸玲央さん	
4	協会だより	
	常任理事会の開催	5
	土地改良委員会	
	現場研修会の開催	6
	建設青年委員会	
	千葉県建設業協会青年部会との意見交換会の開催	7
	建設技術研修所	
	「工事監督者講習会（能登）」の開催	8
	「2級土木施工管理技術検定（第1次・第2次）受験対策講習」の開催	8
5	関係機関からのお知らせ	
	石川県総務部税務課より	
	全国不正軽油撲滅強化月間について ～石川県不正軽油撲滅対策協議会・石川県からのお知らせ～	8

※今月号より「地区協会コーナー」は、下記のとおりInstagramにて情報発信することになりました。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

一般財団法人
石川県建設業協会
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

- ホーム
- 協会案内
- お知らせ
- 講習会・研修会
- 協会報
- 指名競争入札参加
- お問い合わせ

イメージアップ工事着工
未来への扉「石川をつくる」

今月の「輝き！」さん

現場で活躍する
女性はカッコイイ

建設共済保険

建設共済保険

“未来”を創り
“ふる里”を守る
建設産業

こちらで地区協会等の
情報発信をしております。
ぜひご覧ください。

ホームページをご覧ください

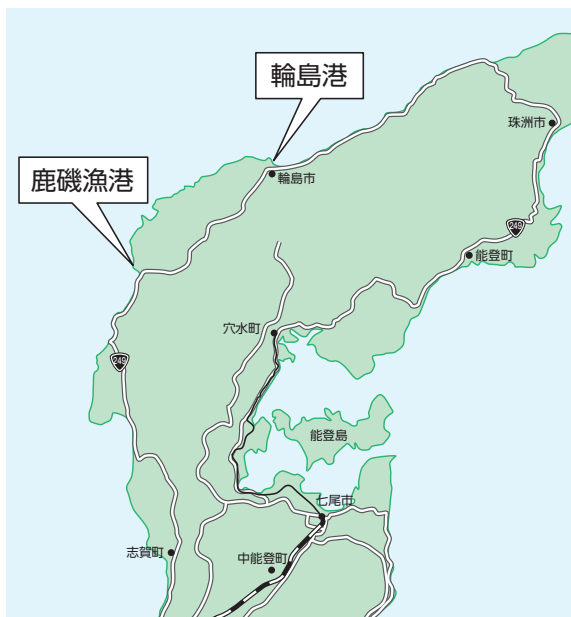
災害復興の足音

漁港・港湾における応急復旧工事

令和6年能登半島地震において、海底の隆起や地盤の隆起・陥没により、港湾・漁港施設における漁船座礁や荷捌き施設の損壊等、深刻な被害が発生しました。

輪島港や鹿磯漁港では、当協会会員企業が災害復旧工事を行うなど、漁港・港湾施設に対する応急復旧工事が進められています。

【輪島港での工事状況】



〈写真提供 (株)田中組、(株)喜多組〉

【鹿磯漁港での工事状況】



〈写真提供 宮下建設(株)〉

石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事してまいります。

がんばろう能登！ がんばろう石川！

最近の完成工事から

令和6年能登半島地震 復旧・復興のあゆみ
～のと里山海道で対面通行を再開～

石川県土木部道路建設課

1 はじめに

能登方面への主要幹線である能越自動車道・のと里山海道は、令和6年元日に発生した能登半島地震の影響で通行止めとなり、被災地に向かう救急車両や支援物資搬送車両が通行可能な限られた道路に集中し、交通渋滞が発生するなど、三方が海に囲まれた能登半島における道路の課題が浮き彫りになりました。

県では、発災直後から、国と連携して鋭意復旧作業を進め、9月10日には全区間で対面通行が可能となりました。



図一1 能越自動車道・のと里山海道の復旧状況

2 徳田大津IC以北の復旧状況

○輪島方面への通行が可能となった日時

- | | | |
|---------|---------|-----------------|
| R6.1.18 | 7 : 00 | 徳田大津IC～横田IC |
| R6.2.2 | 7 : 00 | 穴水IC～のと里山空港IC |
| R6.2.15 | 7 : 00 | 横田IC～越の原IC |
| R6.2.27 | 13 : 00 | のと里山空港IC～のと三井IC |
| R6.3.15 | 13 : 00 | 越の原IC～穴水IC |

○対面通行を確保した日時

- | | | |
|---------|-------|------------------|
| R6.2.27 | 13:00 | のと里山空港IC～のりと三井IC |
| R6.7.17 | 12:00 | 徳田大津IC～のりと里山空港IC |
| R6.9.10 | 10:00 | 能登大橋付近 |

○横田IC～別所岳SA間における応急復旧工事の進捗状況



写真-2 被災直後（盛土の大規模崩壊）



写真-3 能登方面への1車線を確保



写真-4 対面通行を確保



写真-1 対面通行を確保した徳田大津
IC付近の状況

3 徳田大津JCT以南の復旧状況

徳田大津JCT以南では、路面に亀裂や段差が発生するなどの被害が生じましたが、段差のすりつけ等による応急復旧により1月5日には通行が可能となりました。

さらに、7月20日には舗装の打換え等、路面の本復旧工事が完了し、被災前同様の通行が可能となりました。

○柳田IC～上棚矢駄IC間における路面の本復旧工事の進捗状況



写真-5 被災直後（路面の亀裂・段差）



写真-6 応急復旧後（段差のすりつけ）



写真-7 本復旧後（舗装の打換え）

4 復旧工事（能登大橋付近）の進捗状況

甚大な被害が生じ、復旧に時間を要していた能登大橋付近では、片側交互通行により一般車両を通行させながら応急復旧工事を進め、9月10日には対面通行が可能となりました。

本復旧工法については、学識経験者等で構成する道路復旧技術検討委員会の中で検討を進めているところです。

○能登大橋付近における応急復旧工事の進捗状況



写真-8 被災直後（盛土の大規模崩壊）



写真-9 応急復旧工事（片側交互通行）の状況

5 おわりに

能登地域の大動脈である能越自動車道・のと里山海道の対面通行再開は、復旧・復興に向け大きな弾みになるものと考えており、能登の創造的復興に大いに寄与するものと確信しています。

復旧に際しまして、厳しい環境の中、昼夜を問わずご尽力いただいた施工業者の皆様、多大なるお力添えを賜りました関係者の皆様に、改めて感謝を申し上げます。

道路は被災地の復旧・復興に不可欠なインフラであり、引き続き、早期復旧に全力で取り組んでまいります。

今月の「輝き！」さん

No. 113



誠和建設株式会社

せきどれお
関戸玲央さん

所 属：工事部

経験年数：6年3カ月

年 齢：27歳

小松市白江町の会社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。

弊社は、1967年の創業以来、「機動力・誠実・協調と融和」をモットーとし、地域社会への貢献と奉仕の精神を第一にしている総合建設会社です。私は、工事で主に現場の施工管理を担当しています。

—建設業を選んだ理由、入社の動機等について教えてください。

私は、小松市出身で、地元の工業高校の電気科を卒業し、設備会社に就職して2年余り施工管理の仕事をしていました。誠和建設と同じ現場に入った際、その仕事ぶりを見て「自分も土木の仕事をやってみたい。」と思い2018年に転職しました。

—仕事のやりがいを感じるのはどのようなときですか？

弊社は、現場監督の他、重機操縦や運送等、手広く仕事ができる環境にあり、その資格取得も手厚くバックアップしてくれます。入社後、1級土木施工管理技士補や車両系建設機械、大型自動車運転免許等17種の資格を取得させていただき、冬期間の除雪を含め、多岐にわたり仕事を任せてもらっています。

仕事のやりがいは、大型商業施設の新設や道路工事等、担当させてもらった工事が竣工し、形となった姿を見たときの「この現場は自分が手掛けたんだ。」という充実感と喜びが実感できることです。

—令和6年能登半島地震の道路啓開にも出動したのですね。

1月下旬に先輩2人と3泊4日で珠洲市に出動し、道路を遮断する崩落土砂の撤去や迂回路工事等を行いました。辿り着けるのかと思う様な道路を進んで現地入りし、トイレや風呂も使えない中で、提供いただいた施設の床に寝泊まりして作業を頑張ってきました。今後の自分にとって非常に貴重な経験になったと思います。

—将来の夢、目標は？

私は、「建設業は社会に無くてはならない仕事だ。」と思っていますし、その仕事に携わっていることを誇りに感じています。これから、もっと大きな工事を請け負えるようになり、現場監督として一人ですっきり仕事をこなせるように頑張りたいと思います。弊社には現場で仕事をバリバリこなして信頼されている幹部の方がおり、私はその方を目標にしています。

—休日はどのように過ごしていますか？

仕事以外にもやりがいのあることを見つけることが大事だと思います。私は休日には、大好きなオートバイ（900cc）でのツーリングや、SNS等で探した美味しいものの食べ歩きを楽しんでいます。カメラも好きなので景色や花等を撮影しており、先日は河北潟の咲きほこるヒマワリを撮ってきました。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

自分が向いているのかいないのかは、やってみないと分からないと思いますし、どんな仕事でも苦勞はあり、一人前になるには時間がかかります。自分の気持ちで、とにかく挑戦してみることです。一緒に現場で仕事ができれば嬉しいです。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」
毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。
是非お聞きください。

今月放送

9月24日(火)

協会だより

常任理事会の開催

開催日時 令和6年8月7日(水) 12:35~14:15

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 正副会長、常任理事、専務理事、各地区協会専務理事(事務局長)、県協会事務局

概 要

鶴山庄市会長が、「猛暑の中、健康管理や体調管理に十分留意願いたい。能登半島地震の復旧・復興活動では皆さんに大変協力いただいている。7月26日、全国建設業協会から当協会の災害復旧活動に対して、社会貢献表彰が授与された。東京での表彰式に臨み私が表彰状をいただき、山岸専務理事が事例発表を行ってきた。これからも、皆さんに協力いただきながら復旧・復興活動を進めてまいりたい。」と挨拶し、下記議題について報告・協議しました。

〈議題〉

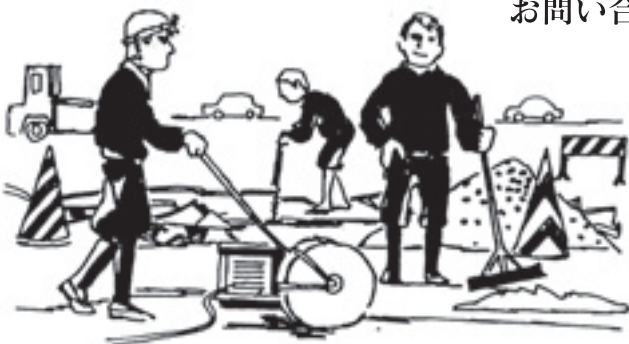
1. 今後の主な日程について
2. 建設工事受注高について
3. いしかわインフラ・フォトクリップ開催について
4. イメージアップ工事看板の設置について
5. 令和6年度 地震・津波を想定した土木部防災訓練について
6. 各委員会の年間事業計画について
7. 各地区協会の活動について
8. 建設業をめぐる最近の話題について
9. その他



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7786

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20
中屋三井ビル2F

土地改良委員会**◎現場研修会の開催**

開催日時 令和6年8月21日(水) 11:00～16:30
研修現場 千代中田トンネル工事現場及び千代橋梁工事現場
参加者 正副技術検討部会長、会員29名、事務局2名

概 要

土地改良委員会では、例年、県内の主要な土地改良事業の施工現場を対象とした現場研修会を開催しています。今回は、輪島市門前町で建設中の土地改良事業では最後となる農道トンネルの工事現場を中心に研修会を開催しました。

能登中核工業団地コミュニティ施設多目的ホールで、それぞれの工事状況の説明など室内研修を行った後、現場を視察しました。

トンネル工事は、安藤ハザマ・宮下・森土木JVが施工しており、今年2月に貫通予定でしたが、全長339mのうち295mを掘進したところで、令和6年能登半島地震に被災しました。既に掘削を終えていた区間においても、大きな変状の発生により有効断面が確保できない状況に陥り、支保工の縫い返しが必要となりました。



写真1 トンネル坑口



写真2 支保工復旧完了区間

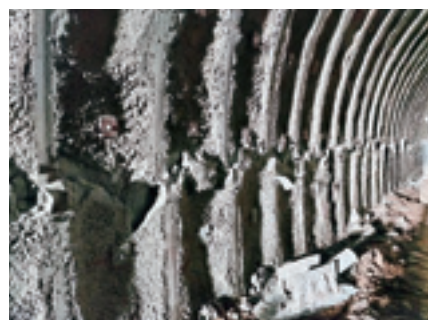


写真3 スプリングラインに沿って支保工破断

トンネル内の横断面の最も幅員が大きいスプリングラインに沿って左右縦断的に鋼製支保工が座屈し、クラックが走っています。(写真3、4)

本トンネルの地山は脆弱で、インバート部も同時に支保工を施工していたものの、インバート部の鋼製支保工にも変状が見られました。(写真5)

また、掘削終点鏡面の吹付上部には亀裂が入っていました。(写真6)



写真4 鋼製支保工の座屈状況



写真5 インバート部鋼製支保工の変形



写真6 掘削終点鏡面（吹付上部に亀裂）

今回の地震により、トンネルのみならず工事用道路やモルタル吹付用プラントにも大きな被害が生じましたが、被災箇所は9月に復旧が完了し、10月には貫通する予定です。

本研修は、地震により被災した施工中のトンネル工事現場を直接見ることができた大変貴重なものとなりました。

建設青年委員会**◎千葉県建設業協会青年部会との意見交換会の開催**

日 時 令和6年8月30日(金) 16:00～17:40
場 所 石川県建設総合センター
参 加 者 千葉県建設業協会青年部会 14名 事務局 2名
石川県建設業協会建設青年委員会 8名 事務局 1名

概 要

(一社)千葉県建設業協会青年部会14名及び事務局2名が訪れ、「令和6年能登半島地震への災害対応」について意見交換会を開催しました。席上、今回の地震対応のみならず、豪雨災害等、年々激甚化する自然災害発生時においても、建設業が将来にわたり地域の守り手として役割を果たしていくことに対する意見も交わされました。

冒頭、当県建設青年委員会 明断圭祐委員長及び千葉県建設業協会青年部会 畔蒜義文部会長からご挨拶を頂き、千葉県建設業協会青年部会より令和6年能登半島地震への義援金を頂戴しました。

その後、国土交通省での災害対応を収めた、北陸地方整備局能登復興事務所の作成動画（タイトル「令和6年能登半島地震からの道路啓開の軌跡」）を視聴し、引き続き、当県代表者2名

北能産業株式会社 福池 功 氏（能登地区）

株式会社吉光組 吉光 成寛 氏（加賀地区）

が地域の建設業者としての災害対応について説明しました。両氏から、自社での災害対応の様子や課題とともに、今回のような大規模災害では社員自身やその家族が被災する中で、会社として道路啓開等インフラの早期復旧工事に従事してもらうことへの葛藤があったこと等を伝え、特に応急災害対応においては、日頃からの社員とのコミュニケーションが大変重要であると説明がありました。

意見交換会では、今回の地震を受けての課題について質問があり、当県委員が自社従業員の安否確認や、情報錯綜の中での正しい情報共有とシステム構築、広く建設業の活躍を伝えるための広報手段、通信手段の確保（衛星電話等）の重要性等について説明しました。千葉県委員からは、「石川県と同じく半島を擁する地域性から、今後の災害対応や日頃からの準備について青年部会が中心となって進めていきたい。」等の意見がありました。



令和6年 ～交通マナーアップいしかわ～

秋の全国交通安全運動

期 間 9月21日(土)～9月30日(月)

9月30日(月)は「交通事故死 **ゼロ** を目指す日」

石川県・石川県交通安全推進協議会
お問い合わせ／石川県生活環境部生活安全課(電話 076-225-1387)

建設技術研修所

◎「工事監督者講習会（能登）」の開催

開催日時 令和6年8月5日(月) 14:00～15:30
 開催場所 奥能登総合事務所会議室
 参加者 25名
 講師 石川県土木部監理課 新田弘毅課長補佐
 石川県土木部監理課技術管理室 田中清二課長補佐

概要

石川県土木部より2名の講師を迎え、以下のご講演をいただきました。

- ①「施工体制の留意点について」 新田課長補佐
 ②「発注業務にかかる最近の話題について」 田中課長補佐



◎「2級土木施工管理技術検定（第1次・第2次）受験対策講習」の開催

開催日時 令和6年8月26日(月) 10:00～16:00
 8月27日(火) 9:30～16:00
 開催場所 石川県建設総合センター
 受講者 11名
 講師 森技術士・安全コンサルタント事務所 森 光明氏
 技術士・コンクリート診断士 中野哲朗氏

概要

2名の講師をお迎えし、受験対策講習を開催しました。第1次検定受験者には模擬試験を実施し、その結果に基づく解説・指導を行いました。第2次検定受験者には対面方式での「施工経験記述」に対する個別指導を行いました。



第1次検定講習（解説指導）



第2次検定講習（個別指導）

関係機関からのお知らせ

全国不正軽油撲滅強化月間について～石川県不正軽油撲滅対策協議会・石川県からのお知らせ～
 石川県総務部税務課より

10月は全国不正軽油撲滅強化月間です。

不正軽油（※）は、刑罰をとともなう重大な犯罪です。不正軽油の製造、販売、使用はもちろん、不正軽油に使用されることを知りながら材料を提供・運搬した人、不正軽油を製造する場所を提供した人なども重い罰則が適用されます。

不審な業者や施設などの、不正軽油に関する情報をお寄せください。

※「不正軽油」とは、主に灯油やA重油を不正に混ぜて、軽油と称して流通しているものです。

不正軽油は、軽油引取税の脱税にとどまらず、環境汚染の原因にもなっています。

また、石油製品販売業、運輸業、建設業等の公正な市場競争を阻害します。



フリーダイヤル 0120-797623（なくならーふせい）
 ファックス番号 076（225）1275
 メールアドレス keiyu110@pref.shikawa.lg.jp
 ホームページ www.pref.shikawa.lg.jp/zei/huseikeiyu/



建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258



契約者
割戻金制度により
掛金負担が
軽減

保険金区分合計
最高**5,000**万円

労働者と企業の
リスクを
カバー

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を!



**フリー
アクセス**

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。